
美少女

結城ひいる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

美少女

【コード】

N1290R

【作者名】

結城ひいる

【あらすじ】

私のひとりごとです。

美少女というものは、それだけで完全にみえる。

小説にアクセントを加える、美少女という単語。彼女たちはフィクションに身をおきながら、

私に特別を見せ付ける。

クラスにいる美少女は、まいという名前だ。もともと大きな目と、少し大きめの鼻、薄い唇に、上がった眉、パーツはたいした問題ではないのかもしれない。バランスが大切だ。可愛いとか、綺麗ではなく、美少女。特定の年齢・特定の容姿に与えられたその称号は光り輝いて見える。

美少女は女をも興奮させる。レズビアンでなくとも、恋愛感情に似た淡い憧れをいなく友達もいる。卑近な例で言うと、雑誌の読者モデルといった存在である。

どこか垢抜けない美少女、洗礼された美少女、作られたような笑みの美少女。彼女らが纏う服や髪型、私生活にまで憧れを抱かせる。私自身はそこまで魅了されないが、信者のように美少女について歩く女の子たちを私はよく見かける。美少女はそれを受け入れ、そして誰にでも優しく、笑顔を浮かべてくれる。これは、誰にでも当てはまることではないが、まいちゃんはそんな感じの子である。

信者のような子はいないが、クラスメイトから美少女という許可が下りているというか、高校にあがったころから本人もそれに見合う髪型やしぐさ、メイクをはじめたように思う。

勉強には力をいれず、あまり男子としゃべらず、強い女の子と仲が

よく、生徒の悪口はあまり言わなかった。美しく優しくどこか作つたような存在。

しかし、それが美少女像なのかと思った。私というそれからかけ離れたというか、男子とも女子とも距離をとつた存在からは、その微妙な立ち居地が美少女の立ち居地に見えた。

小説「シシリエンヌ」に出てくる。ヒロインは24歳でありながら、美少女的立ち居地で機能している。

「嘘つきみーくんと壊れたまーちゃん」のヒロインは壊れた美少女像、俗に言うヤンデレ。私の好きな小説からの抜粋で申し訳ないが、美少女は物語に最適だ。その美しさで周りをふりまわし、話を面白くしてくれる。華だ。うらやましく、そしてどうでもいい。

美少女はどうでもいい。私にとって遠い存在であり、できればかわりたくない存在である。つい目で追ってしまうが、日常の華であり、わたしにとって取るに足らないものである。私の気分を害したり、今のところ私にあまり、関係していない。

うーん。美少女は評価され、そうでないものとの区別がはげしい。可愛いというのは安易で優しい基準があるとおもう。美少女の基準は明確で、はっきりしている。誰もが、八割の人が、美少女だと思えば美少女。みたい。よくわからないが、そんなものな気がする。特別を演じてくれ、私をときどきさせて欲しい。日常に咲く可憐な華なのだから。

女からというか、私からみた美少女。

(後書き)

最後まで読んでくれてありがとうございます。

あなたの感想が聞きたいです。

コメントしてくれますか？

結城ひいる

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1290r/>

美少女

2011年6月4日10時06分発行